

志賀山登山コース[登山道]

志賀山登山（しがやまとざん）コースは、木戸池（きどいけ）、大沼池入口（おおぬまいけいりぐち）、および硯川（すずりかわ）の各バス停を結ぶ中級者向けの登山道である。全長 6.5 キロメートルの行程所要時間は約 4 時間 30 分。また、四十八池湿原（しじゅうはちいけしつげん）から池めぐりコースに入り、大沼池（おおぬまいけ）へと向かうこともできる。こちらのルートは、全長が 12.6 キロメートル、標高差 300 メートル、終点までの所要時間は約 5 時間 30 分となる。3 つの起終点と複数に分かれた道の中から、それぞれのスケジュールと難易度に合わせてコースを組み立てることができる。

どのルートも志賀山（しがやま）山頂（2,035m）へと通じており、山頂からは、周囲の山々や四十八池湿原、志賀高原にしか見られない山池の数々などの雄大な景色を眺めることができる。そこから見える池のひとつは、相撲の行司が持つ軍配と呼ばれるうちわに似ていることから、鬼の相撲場（おにのすもうば）の名が付いている。

また山頂からは、地表から洗い流されてきた硫酸銅によってコバルトブルーに変色した大沼池もきれいに見渡せ、その池の右岸には、青色の湖面を背景に大蛇神社（だいじゃじんじゃ）の赤い鳥居がくっきりと立っている。大蛇とは、民話の中で志賀高原の守護者として描かれている、架空の竜のことである。8 月にはこの神社で大蛇祭りが催され、祭りの期間中は、先端に大蛇の人形を付けて発煙筒を焚いたボートに地元の住民が乗り、湖上渡りが行われる。